八王子市図書館が選んだ！

イチオシ BON



図書館員が選んだ 10 代に読んでほしい本　Vol.3



百十三代目の司書見習い

スチュアート・ウィルソン／著　児玉敦子／訳

東京創元社　978-4-488-01151-2

〈召命〉の日に不本意ながら司書見習いになったオリバー。しかも百十三代目？　説明を聞く間もなく師匠の司書は亡くなってしまい、図書館の本は怪しげでむやみに触れない状態。急遽責任者となったオリバーは、次々に起こる難題に取り組んでいきます。

彗星を追うヴァンパイア

河野裕／著　KADOKAWA

978-4-04-114960-7

舞台は17世紀のイギリス。数学に非凡な才能のあるオスカーは、世界には絶対的なルールがあると信じ、未知のものを解き明かしたいと考えていた。限りある命の中で、知を追い求める事とは？　史実とフィクションを織り交ぜて語られる壮大な物語。





わたしはわたし。あなたじゃない。

鴻巣麻里香／著　リトルモア

978-4-89815-594-3

友達関係や親子関係など日常生活の中で悩みを抱えてはいませんか？ 本書では15人の中高生のリアルなエピソードが紹介されています。あなたの悩みの解決の糸口になるかもしれません。

JK、インドで常識ぶっ壊される

熊谷はるか／著　河出書房新社

978-4-309-03016-6

キラキラの高校生活を夢見ていた女子高生が突然インドに引っ越すことに。賑やかな人々と多様な食文化、その裏にあるカースト制度やスラム街まで。大人でも子どもでもない、高校生が見たインドとは！





この夏の星を見る

辻村深月／著　KADOKAWA

978-4-04-113216-6

コロナで世界の日常がきえた。そんな中、中高生が同じ星を見つける「スターキャッチコンテスト」を開催してつながろうとする。

ペッパーズ・ゴースト

伊坂幸太郎／著　朝日新聞出版

978-4-02-251792-0
978-4-02-265178-5（文庫本）

生徒から「ネコジゴハンター」という謎のコンビの出てくる自作の小説原稿を渡される中学校の教師。この教師には、少しの未来を見る力があった。ニーチェの言葉に導かれ、物語はどこへ向かうのか。





ゼロからの読書教室

読書猿／著　北澤平祐／絵　NHK 出版

978-4-14-081995-1

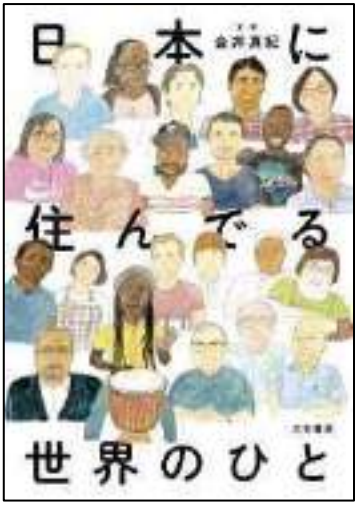
本と、なかよくなるために。フクロウと女の子の会話体で楽しく、文章の性格や物語について、図書館のススメの様々など、出会いたい本に出会うために知っておくといいことがわかりやすく伝わる1冊。

日本に住んでる世界のひと

金井真紀／文･絵　大和書房

978-4-479-39395-5

日本にも外国からやってきて暮らす隣人が増えました。筆者が出会った人たちに興味津々にインタビューして書かれた事情は生きた世界の情報です。世界は知らないことだらけ。気になったところから気軽に読める1冊。





星の花

濱野京子／著　静山社

978-4-86389-883-7

主人公のリシェは、光の侵入から目を守るため遮光眼鏡を取り外すことを母から禁じられていた。その瞳には大きな秘密が隠れていて……。 戦争が起きた地域に暮らす母と娘、二代の物語。

高校受験

高原史朗／著　岩波書店

978-4-00-027266-7

合格できるか心配・不安・進路が決まらない……が溢れる中学３年の受験生が主人公。勉強が得意だったり、不得意だったりと様々な事情を抱えながらも学級新聞でクラスメイトの本音を知りー。自分らしい進路を見つけ、乗り越えられるのか？





AIと生きる

結城浩／著　SBクリエイティブ

978-4-8156-3992-1

急速に私たちの生活に入り、便利で簡単に答えをくれるAI。青春真っただ中の悩み多き高校2年生のテトラは、AIとの関係性を見つめ直し、自ら悩み考えて人生を選び取っていくことに。あなたにとって、大事なものは？

古代文字を解読していたら、研究に取り憑かれた話

大城道則／著　青木真兵／著　大山祐亮／著

ポプラ社　978-4-591-18745-6

古代文字とは文明が発達した初期に使われていた言葉のことを言います。

この本は、古代文字の研究者たちが、この道に入ったきっかけや自身の研究について語った本です。今は使われていない、読み方さえ失われてしまった言語をどうして今さら研究するのでしょう。学問とは、言葉とは何かを考えさせられる内容です。





世界一やさしい脳科学入門

毛内拡／著　河出書房新社

978-4-309-61776-3

「どうして集中できない？」「やる気はどうすれば出る？」あなたの脳は、まだまだ知らない秘密でいっぱい！　誰もが感じたことのある疑問を脳科学の視点からやさしく解き明かします。読み終えた頃には、自分の脳がもっと面白く感じられるはず！

どうやって美術品を守る？

ファビエンヌ・マイヤー／作

ジビュレ・ヴルフ／作　マルティナ・レイカム／絵

田口かおり／監訳　中村智子／訳

創元社　978-4-422-70149-3



みなさんは美術館へ行くことはありますか。私たちが生まれるより前からある美術品が、どうして現代までその姿を残していられるのでしょう？　これからも美術品を残していくために、どうやって保存し、修復しているのかが分かる1冊です。



あしたをみがけ

横沢彰／著　佐藤真紀子／絵

新日本出版社　978-4-406-06785-0

教室に居場所がなく、放課後も1人で過ごしていた中学1年生の沖本灯可理。拾った石をみがく「みがき部」に、たまたま入ることになり……。自分らしくいられることの大切さを教えてくれる本です。

フェンシング部の王子さま

石川宏千花／作　さ・え・ら書房

978-4-378-01574-3

進路や人間関係の摩擦に直面する中学生の揺らぎを精緻に描いた青春文学。フェンシング部から剣道部へ転部した主人公が、周囲の同級生との葛藤を経て、自己のアイデンティティと向き合う成長の軌跡をリアリティ豊かに描き出します。





パッチーズ

佐藤まどか／作　嶽まいこ／絵

岩崎書店　978-4-265-84062-5

うわさ話をするために学校に来ている「日刊ゴシック」たちに目をつけられた日、中学2年生だったぼく柊の世界が灰色からカラフルに色づき始めた。苦し紛れのパッチワークから始まる変化と輪、ツギハギの先にあったものは。

福祉は誰のため？

竹端寛／著　筑摩書房

978-4-480-68534-6

誰でも福祉が必要となる可能性があります。大切なのは、自身や家族の力だけで問題解決する事ではなく、社会でケアし合う関係性を構築する事だと、改めて教えてくれる1冊です。





もののけ diary

京極夏彦／文　石黒亜矢子／絵

岩崎書店　978-4-265-83119-7

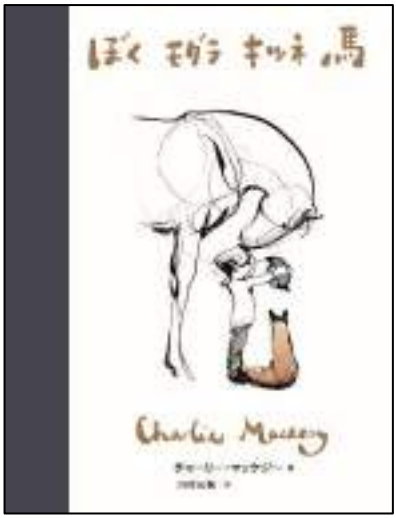
稲生平太郎（16）の家に人間を怖がらせたい妖怪たちが現れます。気味も気持ちも悪いのですが、物理攻撃はないし、主人公が平然としているしで最後には笑えてきます。江戸の妖怪物語「稲生物怪録」からうまれた全ページイラスト付きしかけ絵本です。

ぼく　モグラ　キツネ　馬

チャーリー・マッケジー／著　川村元気／訳

飛鳥新社　978-4-86410-758-7

心のモヤモヤがすっと晴れて、ほっと心がほどける1冊。小さな言葉と温かなイラストが、日常の中で忘れがちな大切なことを思い出させてくれます。翻訳は川村元気。原作のぬくもりを静かに伝えます。





この世は生きる価値がある

長谷川まりる／作　ポプラ社

978-4-591-18651-0

居場所から逃げ出した「ぼく」は、中学3年生・天山の体を借り日常を満喫します。怒って泣いて、悩んで恋して……「ぼく」はなぜ、楽しいだけじゃない世界でも生きたいと思うのか？　タイトルにふさわしい、とっておきの答えが最後に明かされます。

山へ行った画家が丸太の弁当をつくって林業の応援活動をはじめた話

牧野伊三夫／絵・文　あかね書房

978-4-251-08299-2



木こりの働く姿を描くために向かった大分県日田市。出会った人々との交流を通して、いつしか“この街の林業のために何か出来ることはないか”と考えるようになった著者が、自身のイラストと共に奥深い林業の世界やそのユニークな活動について紹介した1冊です。



奇妙でフシギな話ばかり

ブルース・コウヴィル／作

橋賢亀／絵　金原瑞人／訳

岩波書店　978-4-00-116058-1

群れのリーダーになるべくオオカミに変じる男の葛藤にせまる『群れを継ぐ』を含む9篇の物語とチャーミングな挿絵が、フシギな世界に引き込んでくれます。短編の魅力を存分に感じられる1冊です。

AIに書けない文章を書く

前田安正／著　筑摩書房

978-4-480-68517-9

SNSやメールで発信する時、内容が思ったようにまとめられずに意図が相手に伝わらない悩みはありませんか？　AIの進化が目覚ましい今の時代に、自分のことばで文章を組み立てることの意義やテクニックについて考える1冊です。





小説　税金で買った本１

ずいの／作　系山冏／絵　　講談社

978-4-06-540284-9

ヤンキー高校生の石平くんは、本の弁償をキッカケに図書館でアルバイトを始めます。個性的な職員達に出会い、調べる面白さや利用者の役に立つ喜びを知り、仕事にやりがいを感じます。図書館のことをもっと知りたくなる1冊です。

しらんけどな

村上しいこ／作　　かわいちひろ／絵・漫画

さ・え・ら書房　　978-4-378-01575-0

「しらんけどな」は中学2年の漫才コンビ。相方の秘密、将来の悩み、挫折も重なってコンビは解散の危機に！？　関西弁の愉快な掛け合いを楽しみつつ、悩みながらも前に進む2人。その友情と成長に思わず共感したくなる青春ストーリーです。



八王子市図書館員が選んだ！
イチオシ BON Vol.3



図書館のホームページから
本を探せます。

発行・編集：八王子市中央図書館
電話：042-664-4321
発行年：令和 8 年（2026 年）10 月

※表紙のイラストは、ヤングパートナーズの方が
作成してくださいました。